会　議　録

会　　議　　名		令和８年度（2026 年度）第１回八王子市社会福祉審議会　高齢者福祉専門分科会
日　　時		令和８年（2026 年）４月 16 日（木）14 時 00 分～16 時 00 分
場　　所		八王子市役所本庁舎　801 会議室
出席者氏名	委　　員	杉原陽子委員（会長）、塚本恵里香委員（副会長）、荒井雄司委員、礒部剛久委員、井出勲委員、大川富美委員、尾嵜敏夫委員、川津明弘委員、五藤篤委員、小林秀利委員、下田直啓委員、添石遼平委員、田中裕之委員、千種康民委員、平澤進二委員、佐藤一広臨時委員、大野教子臨時委員
	事　務　局	福祉部　菅野匡彦部長 高齢者いきいき課　白石利和課長、齋藤義明主査、三田尚愛主査、森山慶祐主任、吉村航季主任、安樂桃花主事 高齢者福祉課　太田敏弘課長、久保貴司課長補佐兼主査、河合佳代子主査、波多野直子主査 介護保険課　小林真毅課長、今川圭吾主査 福祉政策課　元木博課長、吉井文隆課長補佐兼主査
欠　　席　　者		なし
次第		１　議題 八王子市高齢者計画・第 10 期介護保険事業計画の策定について ２　報告事項 （１）第４期八王子市地域福祉計画　中間見直しに向けて （２）令和７年度第２回八王子市高齢者施設整備審査部会について （３）令和７年度(2025 年度)補助事業実績について （４）令和８年度(2026 年度)地域密着型サービス事業者公募の開始について （５）地域ケア推進部会の開催予定について ３　その他
公開・非公開の別		公開
傍聴人の数		２名

配　付　資　料	次第 資料１－１　八王子市高齢者計画・第 10 期介護保険事業計画の策定について 資料１－２　高齢者計画・第 9 期介護保険事業計画　目標別進捗状況 資料２　第４期八王子市地域福祉計画　中間見直しに向けて 資料３　令和 7 年度第 2 回八王子市高齢者施設整備審査部会の結果について 資料４　令和 7 年度(2025 年度)補助事業実績について 資料５　令和 8 年度(2026 年度)地域密着型サービス事業者公募の開始について 資料６　地域ケア推進部会の開催予定について 参考資料１　新たな委員・臨時委員の委嘱について 参考資料２　八王子市高齢者計画・第 9 期介護保険事業計画概要版
会議の要旨	
	開会 **１　議題** **八王子市高齢者計画・第 10 期介護保険事業計画の策定について** 【事務局から資料1-1、1-2をもとに説明】 【委員から議題について寄せられた意見は次のとおり】
田中裕之	基本的に 9 期計画を引き継ぐということで良いが、生産性やDX化について項目が見当たらないので、国の方針とも照らし合わせると項目として追加した方が良いと思う。
尾嵜委員	上位計画や関連計画との関係性・位置づけについて、「整合」や「調和」という表現が行われているが、どのような意図か。特に意味がなければ、10 期計画においては表現を統一した方が良いと考える。 目標値については、具体的などのような事業を行うのかを踏まえて、実態に即した数字を設定するべきだと思う。
杉原会長	9 期計画の基本的な考えを継承するというのは良いと思う。PDCA サイクルの観点で計画を回してくためにも、計画をコロコロと変えていくのはよろしくないと思う。9 期計画を基本的には継承しつつ、見直すべき点は見直して、加えるべき点は加えて、10 期計画を策定するというのが良いと考える。
塚本副会長	9 期計画の継承という方針については賛成である。ただし、市では社会福祉協議会

	との連携の枠組みを見直していく考えがあるという説明を以前聞いた。9 期計画を継承する上で、こうした点はどのような枠組みで検討するのか整理して欲しい。 　今後多様な社会の形になっていくだろうというなかで、外国人や多民族の方たちのフォローも入ってくると思う。上位計画の地域福祉計画も見直されるところでそのような視点も検討して欲しい。 　10 期計画の策定にあたって実施するアンケートについて。経年の変化をみて検討するという点で、あまり設問を変えないで欲しい。
千種委員	2040 年という中長期的な視点を見据えた社会構造の変化に対応するには、複合的ニーズの増大、介護人材不足、制度への信頼低下という点を意識した大枠の改革が必要である。そのためには介護 DX という小さいレベルでは不十分であり、中期的視点で包括的な仕組みに転換すべき。第 9 期計画における重要テーマ1～7は従来の延長でとらえられるが、重要テーマ8「介護 DX」を大きく変えて、劇的変化に対応できるような縦串としてはどうか。
杉原会長	2040 年に向けて、身寄りのない人が増えてくるため、その対応というは今から備えていかないといけない。9 期計画の策定時点ではその視点が薄かったので、施策目標として見直す必要があるかもしれない。
	２　報告事項 **（１）第４期八王子市地域福祉計画　中間見直しに向けて**
	【事務局から資料2をもとに報告】 【委員から報告事項(1)について寄せられた意見は次のとおり】
礒部委員	相談施設がまとまって、高齢者も若い人も全てそこに行けば対応してくれるというようになってくれたら、市民としては非常にありがたいと思う。
添石委員	はちまるサポートが拠点化することでチームとしての対応力は強化されるかもしれないが、アウトリーチする際の移動距離は伸びる。はちまるサポートを拠点化して、チームビルディングをして、アウトリーチも強化して、という話なのであれば、はちまるサポートと高齢者あんしん相談センターの一体化という方向が現実的なのかなと思った。
佐藤臨時委員	高齢者あんしん相談センターの現場では、相談対応に大変時間がかかる。情報提供で終わるものはほぼなく、1 週間、1 か月、1 年、なかには数年単位でも解決につながらないものもある。多機関連携がうまく機能しないこともあり、高齢者あんしん相談センタ

	ーで対応を進めることもある。9 期計画では高齢者あんしん相談センターの負担軽減をうたっているが軽減感を感じず、業務のボリュームが増えすぎている。 　大きい道筋で高齢者あんしん相談センターが地域全体の相談機能を有する可能性があるとのことだが、今の状況と人材の仕組みではもたない。そういう方向性があるなら、今のうちから業務整理と効率化を図らないと間に合わないと思う。
杉原会長	地域福祉計画の中でも、高齢者あんしん相談センターが取り上げられているということは、地域福祉からも頼られており、更に負担が強まりそうだということを危惧している。今後、中長期的な見通しを持って高齢者あんしん相談センターの負担軽減に対応して欲しいと思う。 **（２）令和７年度第２回八王子市高齢者施設整備審査部会について** 【事務局から資料3をもとに報告】 【委員から報告事項(2)についての意見はなし】 **（３）令和7年度(2025 年度)補助事業実績について** 【事務局から資料4をもとに報告】 【委員から報告事項(3)についての意見はなし】 **（４）令和8年度(2026 年度)地域密着型サービス事業者公募の開始について** 【事務局から資料5をもとに報告】 【委員から報告事項(4)についての意見はなし】 **（５）地域ケア推進部会の開催予定について** 【事務局から資料6をもとに報告】 【委員から報告事項(5)についての意見はなし】 **３　その他** 【事務局から次回会議の予定について案内】 **閉会**